



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月6日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	107,642	12.2	21,518	30.5	22,007	26.0	15,730	19.7
29年9月期第3四半期	95,945	5.3	16,483	4.8	17,459	13.1	13,138	18.1

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 15,382百万円 (△10.0%) 29年9月期第3四半期 17,101百万円 (222.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	101.03	—
29年9月期第3四半期	83.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	236,930	187,623	78.9
29年9月期	239,331	187,558	78.1

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 186,947百万円 29年9月期 186,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	17.00	—	17.00	34.00
30年9月期	—	17.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,300	10.6	26,600	16.4	26,900	11.9	19,200	8.0	124.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年9月期3Q	165,011,568株	29年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	10,213,942株	29年9月期	10,213,886株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年9月期3Q	155,700,618株	29年9月期3Q	157,316,184株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や輸出の持ち直し傾向が継続するなど、緩やかな景気回復基調の中で推移いたしました。しかしながら、欧米の政治動向や米中間の貿易摩擦等により景気の見通しは依然として不透明な状況にあります。

このような状況におきまして、当社グループは、将来に向けた積極的な設備投資を継続するとともに、長年にわたり培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発を推進することで、売上高、利益の拡大に努力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は107,642百万円と前年同期に比べ11,697百万円(12.2%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は21,518百万円と前年同期に比べ5,034百万円(30.5%)の増加、経常利益は22,007百万円と前年同期に比べ4,547百万円(26.0%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,730百万円と前年同期に比べ2,592百万円(19.7%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが減少いたしました。しかしながら、血液分析などの検体検査装置向けがその高感度、低ノイズ、高速応答特性を評価されて堅調に推移いたしました。また、計測分野におきまして、高温や衝撃、振動などへの耐久性に優れた油田探査装置向けの売上げが増加いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源がその高精細かつ高い信頼性・安定性を評価されて国内外で売上げが好調に推移いたしました。また、医用分野におきましてX線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが堅調に推移いたしました。さらに、環境分析等で用いられるキセノンフラッシュランプ及び重水素ランプも売上げを伸ばしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は41,675百万円(前年同期比15.8%増)、営業利益は14,766百万円(前年同期比17.1%増)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げが好調に推移したほか、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野におけるフォトIC、フォトダイオード及びLEDの売上げも増加いたしました。また、非破壊検査等で用いられるシリコンフォトダイオードも売上げを伸ばしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は50,591百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は16,940百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、遠隔病理診断等で用いられる病理デジタルスライドスキャナの売上げが、新製品の投入もあり欧州を中心に堅調に推移いたしました。しかしながら、X線ラインセンサカメラが食品検査向けを中心に減少いたしました。また、生命分野やバイオ分野で用いられるデジタルカメラの売上げも伸び悩みました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は12,021百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は2,457百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

[その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は3,354百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は190百万円(前年同期比45.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、たな卸資産が2,244百万円増加したものの、現金及び預金が12,954百万円減少したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ9,324百万円減少しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が建物及び構築物の増加などにより2,832百万円、無形固定資産が米国子会社の買収に伴うのれんの増加により3,911百万円それぞれ増加したことから、固定資産は前連結会計年度末に比べ6,923百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,400百万円減少し、236,930百万円となりました。

流動負債の主な変動は、1年内返済予定の長期借入金が3,009百万円、電子記録債務が2,994百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ6,405百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、長期借入金が2,871百万円、厚生年金基金解散損失引当金が532百万円それぞれ増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ3,939百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,465百万円減少し、49,307百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得などにより4,735百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が5,150百万円増加したことなどから、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、187,623百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月7日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、下期は1米ドル＝105円、1ユーロ＝130円、通期では1米ドル＝107円50銭、1ユーロ＝131円50銭を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,902	70,947
受取手形及び売掛金	33,608	34,678
商品及び製品	8,742	8,304
仕掛品	16,389	18,096
原材料及び貯蔵品	6,620	7,595
その他	7,729	8,042
貸倒引当金	△159	△154
流動資産合計	156,834	147,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,668	34,532
機械装置及び運搬具(純額)	9,843	11,940
工具、器具及び備品(純額)	3,951	4,343
土地	16,545	16,772
リース資産(純額)	299	312
建設仮勘定	5,983	3,222
有形固定資産合計	68,291	71,124
無形固定資産		
のれん	9	4,072
その他	1,688	1,537
無形固定資産合計	1,697	5,609
投資その他の資産		
投資有価証券	3,684	4,047
繰延税金資産	6,412	6,275
その他	2,429	2,382
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	12,507	12,687
固定資産合計	82,497	89,420
資産合計	239,331	236,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,232	5,473
電子記録債務	8,866	5,871
短期借入金	2,230	2,231
1年内返済予定の長期借入金	3,194	184
未払法人税等	3,517	1,788
賞与引当金	4,570	5,893
災害損失引当金	—	131
その他	12,446	12,080
流動負債合計	40,059	33,654
固定負債		
長期借入金	3,683	6,555
厚生年金基金解散損失引当金	—	532
退職給付に係る負債	7,025	7,276
その他	1,004	1,289
固定負債合計	11,713	15,653
負債合計	51,773	49,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	131,678	136,829
自己株式	△16,060	△20,795
株主資本合計	185,219	185,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259	1,461
為替換算調整勘定	1,210	505
退職給付に係る調整累計額	△750	△654
その他の包括利益累計額合計	1,719	1,312
非支配株主持分	618	675
純資産合計	187,558	187,623
負債純資産合計	239,331	236,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	95,945	107,642
売上原価	48,242	51,809
売上総利益	47,702	55,833
販売費及び一般管理費	31,219	34,315
営業利益	16,483	21,518
営業外収益		
受取利息	125	112
投資不動産賃貸料	44	78
為替差益	531	82
持分法による投資利益	81	97
その他	381	440
営業外収益合計	1,164	811
営業外費用		
支払利息	99	49
不動産賃貸費用	49	94
自己株式取得費用	—	103
その他	38	74
営業外費用合計	187	322
経常利益	17,459	22,007
特別利益		
固定資産売却益	17	28
補助金収入	214	277
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	231	306
特別損失		
固定資産売却損	5	53
固定資産除却損	44	34
固定資産圧縮損	206	263
災害による損失	—	202
投資有価証券評価損	5	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	534
特別損失合計	261	1,088
税金等調整前四半期純利益	17,430	21,225
法人税等	4,239	5,446
四半期純利益	13,190	15,778
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,138	15,730

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	13,190	15,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	201
為替換算調整勘定	3,420	△678
退職給付に係る調整額	105	96
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△15
その他の包括利益合計	3,910	△396
四半期包括利益	17,101	15,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,028	15,323
非支配株主に係る四半期包括利益	72	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	36,003	44,345	12,600	92,949	2,995	95,945	—	95,945
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,319	656	22	1,998	428	2,427	△2,427	—
計	37,323	45,001	12,623	94,948	3,424	98,372	△2,427	95,945
セグメント利益	12,609	13,336	2,533	28,478	130	28,609	△12,126	16,483

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△12,126百万円には、セグメント間取引消去△1,119百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,006百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	41,675	50,591	12,021	104,288	3,354	107,642	—	107,642
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,186	619	22	1,829	492	2,321	△2,321	—
計	42,862	51,211	12,043	106,117	3,846	109,964	△2,321	107,642
セグメント利益	14,766	16,940	2,457	34,164	190	34,355	△12,837	21,518

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△12,837百万円には、セグメント間取引消去△1,054百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,782百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。